

# 日本の農業 世界7位の生産高と狭い農地面積

2014年6月10日  
www.globalnote.jpより  
他

出典・参照 United Nations Statistics Division  
単位は百万米ドル 2012年

## 農業生産高

1	中国	829,709
2	インド	307,807
3	アメリカ	177,331
4	インドネシア	126,820
5	ブラジル	100,414
6	ナイジェリア	85,542
7	日本	69,242
8	ロシア	米 66,826
9	トルコ	62,188
10	イラン	51,043
11	パキスタン	米 50,756
12	フランス	46,062
13	メキシコ	40,391
14	タイ	40,298
15	アルゼンチン	39,097
16	イタリア	36,115
17	エジプト	36,033
18	オーストラリア	米 34,922
19	ベトナム	30,650
20	マレーシア	30,637
21	スペイン	29,828
22	フィリピン	29,615

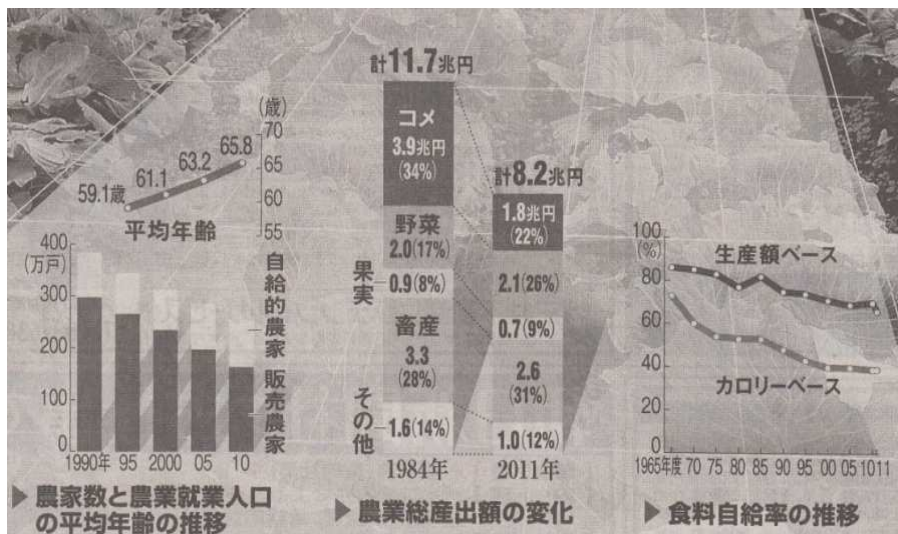
我が国の農地面積は456万ha。  
平均経営面積は、豪州の約1/1,300、米国の約1/75、EUの1/6。

## ○農地面積の各国の比較

www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kaigai\_nogyo/.../area.pdf

	日本	米国	EU(27)	EU(27)			豪州
				ドイツ	フランス	イギリス	
平均経営面積 (ha) (倍)	2.27 (1)	169.6 (75)	14.1 (6)	55.8 (25)	52.6 (23)	78.6 (35)	2,970.4 (1,309)
農地面積 (万ha)	456	40,345	18,841	1,689	2,927	1,733	40,903
国土面積に 占める割合 (%)	12.2	41.0	43.5	47.3	53.3	71.1	52.8

資料：平均経営面積：「農業構造動態調査」、USDA/NASS資料、EU 農業センサス2010（速報値）、  
Australian Commodity Statistics  
農地面積及び国土面積に占める割合：「耕地及び作付面積統計」、FAOSTAT  
注1：日本は2011年の数値。それ以外の国は、平均経営面積は2010年、農地面積は2009年の数値。  
注2：日本の平均経営面積及び農地面積には、採草・放牧地等を含まない。  
注3：日本の平均経営面積は一経営体当たりの経営耕地面積（農業経営体）。  
注4：日本の「国土面積に占める割合」は、北方領土を除いた国土面積に対する割合。



2014年6月8日 朝日新聞

実際の日本の農業生産高はなんと世界第7位の農業大国(2012年)。  
先進国では米国に次いで2位と大健闘をしています。  
生産高ベースの自給率は66%と他国とみおとりしません。

1位から10位の国々はいずれも国土の広い国。  
日本の国土面積、37万平方kmは世界61位。しかも国土の68%は森林におおわれ、残りの平地は住宅地・工業地・商業地・農地・他・となっている。

農地面積は国土全体のたった12.2%の4,56万平方km。耕作休眠地を含むと約5万平方kmで国土の13.5%となる。日本があんな広大な大地を持つロシアより農業生産高が高い現実をあなたはどのように考えますか？農業大国と言われるフランスよりも、日本の方が生産高は高いのです。

主要国の平均経営農地面積を見ると、米国の平均経営農地面積は日本の75倍なのに農業生産高は2.6倍しかない。豪州は1300倍の平均経営農地面積を持っているにもかかわらず、農業生産高は日本の半分です。  
日本が狭い農地、小規模農家が多く、高い農業生産実績を上げていることがわかります。日本の農業は大健闘をしています。

1984年に11,7兆円あった生産高は2012年には8,2兆円にへっています。減った3,5兆円の内、米が2,1兆円減、畜産が0,7兆円減、その他が0,6兆円減です。  
野菜は1000億円増、果実は2000億円増えています。  
農業生産高減少の大半は米が問題なのです。減反政策、米農家の高齢化・補助金頼み・・・などが生産高減少の原因です。